

新水族博物館の概算事業費

当初の71億円から1.6倍の113億円に

これでは納得できない
もっとしっかりした資料を

概算事業費が当初の71億4000万円から113億3000万円へと大きく膨らんだ新水族博物館整備事業について18日、市議会総務常任委員会の所管事務調査が行われた。



この中で市は、「日本海側を代表する水族博物館になるとともに、市民の誰もが愛着と誇りを持ち、未来を担う子どもたちに夢を与え、それを育んでいける場」「当初予定していない工事費や現下の経済情勢から資材等の高騰により事業費が増加することになるが、これまで積み重ねてきた市民の思いを具現化し、当市に相応しい魅力ある水族博物館を整備するために必要な

事業であり、事業費である」と説明しました。

これを受けて、委員からは、「これまで新水族館は必要、まちづくりにも大きな役割を果たすと賛成してきた。だが、前回の説明では場所の変更により事業費は安くなるということだったはずだ。

1.6倍というのは計画が甘かったのではないか」「価値ある投資だと思いが、わずか1年の間にこれだけアップしたことの説明が不足している。説明する資料としては貧弱だ」「(言い方がおかしいかもしれないが)身分不相応でもないから、すばらしい水族館であってほしい」「日本一にするために増やしたとみているが、基本計画の中では、63億円を最大限にするとなっていたはずだ。もっと細かい説明が必要だ」「ぜひ建設をと張り切っていたが、(今回の計画を見て)正直言って疲れがどっと出た。説明の内容がどんぶり勘定的に聞こえてならない。どうしてものというなら、もっとデータをきちっと出してほしい。具体的に積み上げた部分を書きもので提示すべきだ」などの声相次ぎました。

てくると思いますが、採算性を含め、しっかりしたものも提示してほしいものです。

100条委員会設置に関して各派代表者会議で協議へ

ガス水道局の本支管工事の入札談合疑惑問題で新たな動きが出てきました。

市議会の会派、市民クラブ(柳沢周治代表)が議長に「100条委員会の設置を検討するための代表者会議の開催を求め、申し入れを行い、それを受けて3月4日の本会議終了後、100条委員会の設置をしようかどうかの協議を行うことが決まったのです。

申し入れ書で市民クラブは、市長が公正取引委員会に通知したものの、「1年が経過しようとするなか、依然として結論の通知

がなく、この先の判明時期も極めて不透明な状況に置かれていくのべ、「談合疑惑解明に向けて、議会はこの先、無限に公取委の結論待ちの姿勢に終始することなく、議会調査に限界はあるにしても



【カボチャプリン】バレンタインデーにいただいた食べ物です。カボチャの黄色がよくでていて、とてもきれいでした。甘くておいしかったです。

「議会自ら解明努力する必要」とその時期に入った」と考える」としています。

同クラブはこれまで、「通知から1年間など、一定期間を経過して尚結論が出されない場合、議会自らがその議事権能を行使する中で、疑惑解明努力と市民への説明責任を果たすべき」と主張してきました。

3月4日の協議に向けて各会派ではどう対応するか議論が始まりました。ぜひ設置に踏み切ってもらいたいものです。

藤野衆院議員迎え、県議会に春を呼ぶ集い開催

日本共産党上越地区委員会は総選挙後の国会情勢を学び、県政の課題を語るつどいを開催します。藤野保史新衆院議員が国会報告をし、私も県政を中心に語ります。参加費は無料です。送迎もします。ぜひご参加ください。



日時：2月22日(日)
午後4時～5時半
場所：頸城区希望館大ホール

はしづめ法一の
活動レポート

No.1697 2015.2.22

発行編集 日本共産党上越市議 橋爪のりかず
Tel 025-548-3628 吉川有線 4867
通じないときは 090-5392-1961
E-mail hasiznyg@ruby.ocn.ne.jp
URL http://www.hose1.jp/



ブログ「ホーセの見
てある記」は
← こちら

橋爪法一 検索

春よ来い

第三四五回

雪化粧

たぶん、Kさんは私が家にやって来るのをずっと待っていてくれたのだと思います。夕方、それも、すでに六時をまわった時間帯でした。「ごめんください」という私の声が聞こえると、Kさんはすぐに居間から戸を開けて玄関の方にやってきました。

Kさんは私の顔を見る前から、ニコニコしています。まるで、「おー、来たか、よく来た、よく来た」と言っているように見えました。「さあ、入って、お茶飲んでくれない」と言われ、一度は「いや、もう夕飯の時間だすけ、またの機会にする」と言ったのですが、Kさんの顔を見たら、あまりにもさみしそうでしたので、「じゃ、ちよっとだけ入らせてもらおうか」と言って、あげさせてもらいました。

居間に入ると、練炭や豆炭専用の丸いコンロの上で豆炭をおこしているところでした。「こりや、懐かしい」私はそう言いながらカメラのレンズを向けました。豆炭の周囲はすでに白くなっています。豆炭にはもう火がついたということです。このままコタツにも行火にも使えます。詳しいことは聞かずじまいでしたが、Kさんは背中に豆炭入りの小さな行火をだかせているようでした。

居間の真ん中にあるコタツの上には、おいしそうなカボチャの煮たものがたくさんありました。「これ、うんめがでね、食べてみてくんない」そう言われ、すぐに一個を手づかみして口に入れると、確かに、甘くて、「うんめ」ものでした。

順序は逆になりましたが、その後、Kさんが小皿を持ってきてくれましたので、ふたつだけこの皿に入れました。箸を使って食べようとした直前、「これも写真に撮らなきゃ」と思い、写真に収めました。ですから、このとき撮影した写真には箸をつけた跡が残っています。

私が写真に撮ったことが刺激になったのでしょうか、見た目では普通のカボチャだと思っていたのですが、Kさんは、このカボチャについて説明を始めました。

「このカボチャはね、雪化粧と言わね。畑で歩いていたら、これにけつまづいてしまつてさね、そしたら、このカボチャがあつたんだわね」

Kさんの畑というのはおそらく家のそばにあるのだと思います。カボチャの葉でいっぱいになったところでは、よく見ないと、カボチャがどこにあるのかわかりません。私はKさんがこのカボチャにつまづいた様子を想像し、笑ってしまいました。

私はカボチャに「雪化粧」という名前がついていることが信じられず、何度か、「雪化粧か」と聞いただけでした。間違いないと見えます。名前はここからきたんですね。のところがついたらと雪がついているように見えます。よく見ると、カボチャの皮

ストープの近くには、カボチャの種と思われるものが乾燥させてありました。種を炒って食べるのかと思いましたが、Kさんはこれでカボチャを増やしていこうと思っていたようです。それも自分のところで使うだけではなく、よその人からも増やしてもらいたいと思っていたようです。私には農協の請求書が入っていた古封筒に種を入れ、分けてくださいました。

Kさんは雪の多い山間部での一人暮らし。週に一回はデイサービスに通い、あとは近所でお茶飲みを楽しんだり、家の中で好きな食べ物を作ったりして過ごしています。この日、分けてもらったカボチャの種は私も近くの畑で育ててみようと思います。今年のはカボチャたちがうつつすらと白い色で化粧してくれるかどうか、楽しみです。

吉川区新保育園の移転整備など具体化

上越市は18日の厚生常任委員会で上越市保育園の再配置等に係る第2期計画（案）を発表しました。

保育園の再配置等に係る計画は保育園施設の老朽化や少子化の進行に伴う保育環境整備として平成23年度

から取り組まれています。これまでの第1期計画では、有間川保育園など4園の統合、下正善寺保育園の廃止、東城保育園の民営化などを進めてきました。

平成27年度から30年度までの第2期計画（案）のなかでは、「施設の老朽化と安全な保育環境への課題」についてふれ、公立認可保育園43園、地域保育園1園のうち、18園が耐用年数を超過していることや、0歳児受け入れのために必要な乳児室や設備等が不足している施設もあることなどを明らかにしています。

子どもたちの安全な保育ということを考えたら、これらは早急に解決すべき課題です。

第2期の計画（案）で取り組む具体的な内容として今回示されたのは、吉川区新保育園の整備及び民営化（吉川中央保育園・旭保育園、私立吉川保育園が対象）、北本町保育園の移転整備、中央保育園・古城保育園の統合、移転整備、名立区新保育園の整備及び民営化（名南保育園、私立たちばな保育園が対象）です。

保育園の再配置は子どもや保護者のくらしにも大きな影響を与えます。市の保育の責任を明確にしつつ、関係者と十分に話し合っほしいものです。

上越地域各消防署における空間放射線量測定結果

測定は毎日午前9時。数値はマイクロシーベルト。1時間当たりの測定量です。

消防署によると、通常は1時間当たり0.016～0.16μSv（マイクロシーベルト）だとのこと。

	2月11日(水)	2月18日(水)
上越南消防署	0.040	0.040
上越北消防署	0.050	0.050
新井消防署	0.040	0.050
頸北消防署	0.050	0.053
頸南消防署	0.050	0.050
東頸消防署	0.047	0.050
高士分遣所	0.043	0.043
名立分遣所	0.050	0.050

〈公立保育園の耐用年数の超過状況〉（2015年4月1日見込み）

区分	耐用年数未超過	耐用年数超過	計
木造 (耐用年数25年)	5	18	23
鉄骨造 (耐用年数40年)	1	0	1
鉄筋コンクリート造 (耐用年数60年)	20	0	20
合計	26	18	44